

旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 増刊号

令和4年6月吉日

発行所: 旭ろうさい病院

〒488-8585

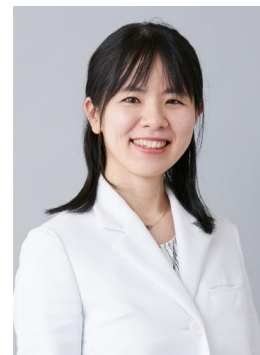
尾張市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

小児外科外来のご案内

外科医師 加藤 翔子



旭ろうさい病院小児外科の加藤翔子です。2022年4月より赴任いたしました。

旭ろうさい病院では、エコー・CT・MRIを用いた診断と、臍ヘルニア・鼠径ヘルニア・虫垂炎などに対する腹腔鏡下手術が可能です。また、悪性疾患や新生児手術に関しては、愛知医科大学病院と連携を取りながら対応させていただきます。

小児外科疾患は幅広く、あまり馴染みのない疾患も多いため、診断や対応に困ることも多いかと思います。まずは、当院小児外科までお気軽にご相談ください。

旭ろうさい病院 0561-54-3131 (代表) 外科外来 (毎週金曜日)

小児外科 加藤翔子 shokodayo56@yahoo.co.jp

小児外科は、小児のあらゆる外科疾患(消化器外科、呼吸器外科、耳鼻科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、形成外科)を扱っています。

対応疾患: 臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、虫垂炎、腸重積、幽門狭窄症、便秘、逆流性食道炎、後腹膜腫瘍、気胸、肺分画症、縦隔腫瘍、頸嚢胞・頸瘻、陰嚢水腫、停留精巣、包茎、陰唇癒合、卵巣嚢腫、胆道閉鎖症・拡張症、先天性皮膚瘻孔、脂肪腫、血管腫、リンパ管腫、外傷

代表的疾患への当院の治療方針につきご紹介いたします。

<臍ヘルニア>

綿球やテープを用いた固定を行っています。1歳を過ぎると手術適応としています。ヘルニア門が閉じない、余剰皮膚が残っている際には、ご相談ください。

臍ヘルニア

テープ固定

1歳を超えたら手術適応としています



<鼠径ヘルニア・陰嚢水腫>

どちらも腹膜鞘状突起の残存が原因です。エコーによる診断で、脱出臓器（腸管、大網、卵巣など）を確認できます。鼠径ヘルニアは診断がつき次第、水腫は1歳を超えたら手術適応としています。2泊3日入院、全身麻酔で腹腔鏡下手術を施行しています。

鼠径ヘルニア

- ◆頻度3%
- ◆腹膜鞘状突起の開存
- ◆USで診断できる

はっきりしなくても
ご紹介いただければ診断いたします

- ◆ヘルニア嚢の高位結紮

Potts法

LPEC, laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure



<停留精巣>

精巣導帯の付着異常が原因です。挙睾筋の収縮に伴い精巣が挙上する移動性精巣との鑑別が難しく、移動性精巣として経過観察されている症例の中に停留精巣が混在していることが度々あります。生後6か月以降で手術を検討します。

<虫垂炎>

最近では抗生剤により大半の症例で炎症コントロール可能です。炎症が高度な症例（膿瘍形成など）は特に、待機的手術をお勧めしています。抗生剤で治癒させた後に手術をすることで、周術期合併症を減らすことが可能です。汎発性腹膜炎によるイレウスを生じているような場合には、保存的治療では改善が乏しいため緊急手術を施行することもあります。

虫垂炎

◆右下腹部の圧痛・反跳痛

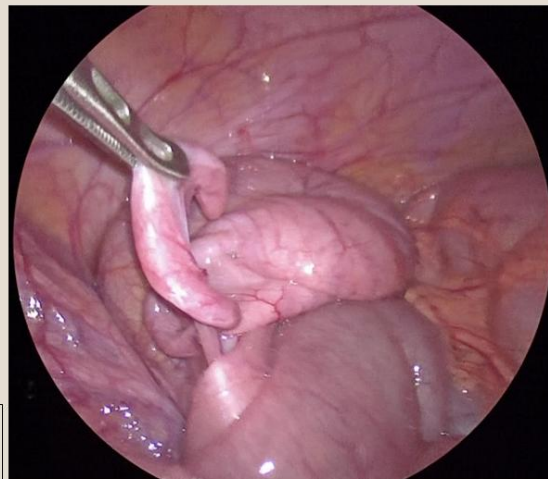
◆白血球増多>1万

◆US 虫垂腫大 糞石

◆抗生剤

◆腹腔鏡下虫垂切除術

最近では炎症がおさまってから
待機的手術とすることが多いです



<便秘>

重度になると遺糞症を伴います。直腸に巨大な便塊を作り、その隙間から軟便が漏れ出てくるような状態で、便が出ているからといって安心はできません。内服・座薬・浣腸でコントロール不良な場合には、浣腸などの処置介入、Hirschsprung 病との鑑別診断（直腸粘膜生検）を行います。

<肥厚性幽門狭窄症>

症状は生後2週以降の噴水様嘔吐です。超音波で診断し、幽門筋切開を行います。経臍法で傷が目立たない手術を施行しています。

<腸重積>

症状は、間欠的啼泣・いちごジャム状の血便です。特発性の場合がほとんどで、回腸末端の肥大したリンパ組織を先進部としており、注腸で治ることが多いです。稀に、消化管ポリープや Meckel 憩室を先進部とする続発性の症例に対し、緊急手術が必要となる場合もあります。

<胆道閉鎖症>

生後 1 か月を過ぎてから遷延・悪化する黄疸で発症します。便色スケールは皆様ご存知だと思いますが、いわゆる灰白色便というのも、すこし黄色味が残ることが多く、3番と 4 番の違いを区別するのは非常に難しいようです。また、ミノルタの数値で問題ないと経過を診ているケースも多いですが、閉鎖症を疑う場合は、血清直接ビリルビン値を確認する必要があります。葛西手術を早期に施行できるかどうかで予後が変わりますので、黄疸・便色が気になる場合には早めのご紹介をお願いいたします。

2か月女児
「黄疸が気になります」

「いやあ、このくらいの子は
黄疸が多少あるものですよ」...?

便色をcheckしてください！！

ミノルタでは除外できません
胆道閉鎖症を疑ったらご紹介を

見本

うんちの色に注意しましょう
明るいうちでカードの色と
見比べてください。

1番～3番
に近い色だと思
う

4番～7番
だったのが
1番～3番
に近くなった

どちらかが当てはまるときは、**胆道閉鎖症**
などの病気の可能性がありますので、1日
も早く小児科医、小児外科医等の診療
を受けてください。

便色の記入欄（観察日と右欄に当てはまる色番号）

生後2週	年	月	日	番
生後1か月	年	月	日	番
生後1～4か月	年	月	日	番

生後4か月くらいまでは、うんちの色に注
意が必要です。生後2週を過ぎても皮膚や
白目（しるめ）が黄色い場合、おしっこが
濃い黄色の場合にも、すぐに医師等に相談
しましょう。

<胆道拡張症>

蛋白栓が嵌頓することにより腹痛・嘔吐・黄疸を生じます。超音波・MRCP で診断後、腹腔鏡下で胆管切除します。

<先天性皮膚瘻孔>

耳前瘻孔、側頸瘻は比較的頻度が多いですが、その他にも下腹部正中（恥骨前瘻孔）や鎖骨部（皮下皮様瘻孔）などに先天性瘻孔が生じることがあります。いずれも感染を繰り返す場合が多く、瘻孔を深部まで全摘する必要があります。一度感染を起こすと広範囲の切除が必要になる場合があります、早めの手術をお勧めしています。

先天性瘻孔

耳前瘻孔、側頸瘻、正中頸嚢胞の他、
先天性皮下皮様瘻孔

恥骨前瘻孔

などを専門としています。 **ご相談ください**

日小外会誌 第57巻6号 2021年10月, pp. 1008-1011
doi: 10.11164/jjgn.57.6_1008

先天性前胸部皮下皮様瘻孔
—自験例2例の報告, および既報告50例の検討—

加藤 翔子, 金子健一郎, 福山 貴大, 松下 希美, 佐野 力

